

煌めく

オンリーワン・ナンバーワン

企業

21世紀を拓くエクセレントカンパニー



ものづくりを支える唯一無二の
老舗精密ヤスリメーカー

世界に輝く信頼の
オンリーワンブランド「魚地球印」



「ヤスリの形は昔から変わらないため
ローテク製品と見られがちです。し
かしヤスリは製品の仕上がりを左右
する極めて重要な工具で、ものづく
りにはなくてはならないものです」

株式会社
広島鑢製造所

代表取締役社長

中洲 紀子

Only one and number one enterprise

Business leader

呉市は広島県の南西部に位置する臨海都市で、明治以来軍港、造船の街として栄えてきた。大和ミュージアムの愛称で親しまれている呉市海事歴史科学館や、「てつのくじら館」など旧海軍、海上自衛隊に関する記念館や博物館など観光スポットとしても有名だ。

瀬戸内海に面した温和な気候で自然豊かな天然の良港としても名高い呉市は、造船や鉄鋼をはじめとした臨海工業都市として発展を遂げ、特に市内仁方地区の鑪（ヤスリ）の生産量は日本一を誇る。最盛期には100社を超える鑪製造所が存在していたが、現在は20社程度が軒を連ねる。この鑪の街で、ものづくりに関わる人なら誰もが知っている精密鑪のトップメーカーが、昭和12年創業の株式会社広島鑪製造所である。

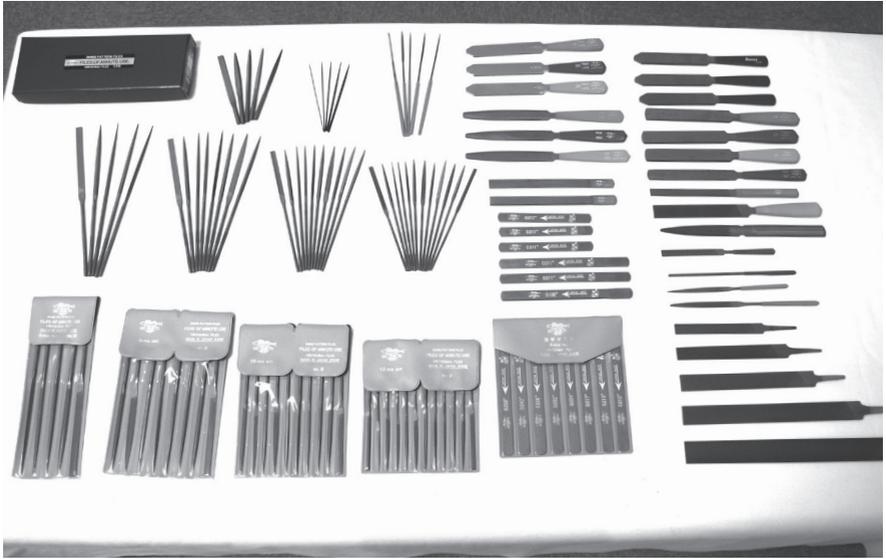
唯一無二の精密鑪製造メーカーとして日本のものづくりの基礎を支えてきた広島鑪製造所の「魚地球印」のブランドは、国内はおろか世界中のものづくりに携わる職人たちに親しまれる精密鑪のトップブランドだ。

広島鑪製造所で作られている鑪はいずれもプロ仕様の鑪ばかりで、標準的なものから顕微鏡を使わないと見えないぐらいの小さな目のものまでその数は実に120種類以上におよぶ。

製品の最終仕上げに使う精密鑪の市場では国内で95%のシェアを誇り、海外15カ国に輸出されている。匠の技を競うプロの職人にとって「魚地球印」のブランド製品はなくてはならないオンリーワン製品なのだ。

「自分の道は自分で切り開いていくしかない」
「先代の意志を引き継ぐ」という思いで3代目社長就任





ものづくりを支える精密ヤスリの数々

昭和61年の男女雇用機会均等法の施行以来、育児休業制度の確立など女性の社会進出に関するインフラ整備が進み、あらゆる産業分野で女性の進出が目覚ましい。

しかし現実には、企業の大小、業種、職場環境によって処遇面での男女間の格差は千差万別であり、働く女性の環境整備は道半ばが実情だ。

3代目を継いだ中洲紀子社長も、学校を卒業して就職に際しては「男女の壁」に苦しんだ一人だ。「学業を終えて銀行に就職したのですが、当時の銀行は完全な男社会で女性に対しては厳しい所でした。そんな中でお茶くみをしながらも『お茶くみなら一番おいしいと言われる様になろう』とか、目の前の仕事を常にポジティブに考えて行うことに努めていました。辛くてしんどいこともありました』が『自分の道は自分で切り開いていくしかない』という自立した気持ち若いう頃から持っていました。これは大きな財産だったと思います」と当時を振り返る。

その後結婚して専業主婦となった中洲社長は、子育てがひと段落したところで当時社長だった父に頼まれて会社の経理を手伝うようになった。仕

事を覚える中で、会社の流れを理解するには製造現場も理解しなければ、と考えた中洲社長は精密鑪の製造にのめり込み、経理だけではなく、父の仕事全般について補佐的な仕事を手掛けるようになった。

「父が病に倒れて後継者を決めなければならなくなった時、私が後を継ぐべきかどうかで随分悩みました。断る選択肢もありましたが、これまでお世話になった取引先や社員の人たちの生活、そして父の心中を考えると、『やはり私が引き受けるしかない』と思いました」

中洲社長が3代目に就任したのは、経理を手伝い始めて五年目のことだった。母として社長として女性として輝きを放ちながらも、その道のりは決して平坦なものではなかった。

とりわけ類似品の横行や技術の承継、人材の育成など幾多の困難に見舞われたが、逆境を試練と受け止め、しなやかに、したたかに乗り越えてきた中洲社長ならではのチャレンジ精神が、精密鑪のトップメーカーの地位を不動のものにしている要因だろう。

**プロの職人に不可欠の「最高の道具」を提供
類似品に毅然と立ち向かい『魚地球印』のブランドを守る**



天性の明るさと直観力、行動力でピンチをチャンスに変えてきた中洲社長は、プロの職人には不可欠の「最高の道具」を提供することで、国内外のものづくりを守り発展させてきた。

「ヤスリの形は昔から変わらないためローテク製品と見られがちです。しかしヤスリは製品の仕上がりを左右する極めて重要な工具で、ものづくりにはなくてはならないものです」と中洲社長は鑪の重要性を強調する。



鏝の目は細かいほど高い品質精度が求められる。広島鏝製造所では、油目と呼ばれる最も目が細かい種類の製品を扱っており、その細かさは素人が鏝の表面を触っても手で触れただけでは鏝の表面に目があるのがわからないほどだ。

広島鏝製造所の「魚地球印」製品は、削った後の表面の仕上がりが美しいと評判だ。とくにシビアナな表面仕上げが要求される彫金・宝飾加工仕上げや、歯科技工向けなどでは、「魚地球印」が高い品質と厚い信頼を保証する最高級ブランドとしての声価を独占している。

中洲社長就任後まもなく、「魚地球印」の類似品が出回るといふ事件が発生したが、これに怯むことなくホームページで「類似品にご注意ください」と呼びかけ、弁護士を立てて堂々と闘った。

「当社の製品を愛用してくださるお客様のためにも、何としても『魚地球印』のブランドを守らなければと思いました。ホームページを制作したのも、当社のスタンスをきちんと広くアピールするとともに、類似品の横行を食い止める狙いからでした」と振り返る。

一流の職人から絶大な支持を得るギターヤスリのトップメーカー 新たな市場を開拓する爪ヤスリ「しなやか」



精密ヤスリで世界にその名をとどろかせる広島鏝製造所だが、同社が製造しているヤスリは工業用の精密ヤスリばかりではない。世界的に有名なギターブランド「Ibanez（アイバニーズ）」の専属職人やカナダ在住の有名ギター職人である川上祐介氏など、様々なギター職人から絶大な支持を得ているギターヤスリのトップメーカーでもあるのだ。

広島鏝製造所がギターヤスリを手掛けるようになったのは、30年ほど前に楽器メーカーからギター



評判の高い爪やすり「しなやか」

の弦を調整するやすりが欲しい、という依頼を受けたのが始まりだった。

「弦の溝の部分とやすりの面がしつかり合うことによって微妙な音を表現できるようになるそうです。そしてありがたいことに繊細な角度を持つ当社のやすりをギターやすりとして高く評価して下さいました」という。

ギターだけではなく、マンドリン用やバイオリン用の注文も増え、半年先まで予約が埋まっているのとこだ。名だたる一流職人に「一度使えば他は使えない」と言わしめる高い品質を誇る広島鑄造所ならではの快挙と言える。

さらに、中洲社長は40年ほど前まで生産していた爪やすりを現代風にアレンジした新製品「しなやか」を開発した。この爪やすりは、やすりといえば工業用途という固定観念を覆し、プロの整体師・マッサージ師から圧倒的な支持を得て、やすりの全く新しい市場を拓く画期的な商品として記憶されることになった。

「若い世代でネイルアートが盛んですし、パッケージデザインに力を入れましたのでプレゼントとしてもおススメです。着物作家、ギター職人、エステティシャン、奥様方など、なめらかな削り感に高い評価を受け、



つくづく商品化してよかったですと思いました」

中洲社長は、「エステ・マッサージなど人の身体に触れる職業の方や、自分と同じように好んで着物を着る方よりも、ネイル業界の方にもぜひ使っていたきたい」と熱く語る。

伝統を守るだけでなく時代に即した新しい分野のヤスリの可能性、価値を探索して製品開発を行った中洲社長の、ものづくりに賭けるバイタリテイは半端なものではない。

「人（職人）づくり無くしてもものづくり無し」 女性を意欲的に雇用。ヤスリ職人の半分は女性が占める



幅広い需要層から高く評価される広島鑢製造所だが、長年培われた職人技ともいえる伝統の匠のわざは、職人の手の感覚があつてのものだ。その手の感覚は、一連の工程で使用される機械を自社でカスタマイズ化し、オリジナル機に作り上げるぐらい優れたものだ。

しかし、どんなに優れた技術も継承されなければその人限りのものとなつて廃れてしまう。このため中洲社長は就任前から、若手職人の育成に力を注いできた。

「先代社長だった父は、精密ヤスリの仕事は若い者にはできない、ということでも新卒者は採用しませんでした。私は思い切つてその方針を替えました」と自らの人材採用を語る。

「時には高度な職人技術に追い付かず、クレームに繋がってしまうこともあります。しかし人を育てるということで大切なのは、仕事を任せるということです。次に大切なことは技量を磨くための努力を惜しまず、繰り返し鍛錬を怠らないということです。多くの経験を積み重ねていくことによつて、優れた伝統の技術が継承されていくのだと思います」と語る中洲社長。



歴史と伝統ある本社兼工場

また、若い人材だけでなく女性の雇用にも意欲的で、ヤスリ職人の半分は女性で占められている。

「女性の方も皆さんそれぞれ生活がかかっています。結果的に長続きしているだけで、ものづくりに性別は関係ありません。とにかくものづくりが好きな人、手先が器用な人などその人の気質の方が大事です。学校の成績も関係ありません。ものを作ることが好きかどうか、重要なことはただそれだけなんです」と熱く語る。

過剰な設備投資をせず、一本一本人間の目で確認しながら仕上げる昔ながらのやり方を貫いている。品質を左右するのは機械ではなく人間の手で、まさに「ものづくりは人づくり」を具現化した製造体制といえる。

「なかには『携帯電話やパソコンに全く興味が無い』という若い子もいます。さすがにそれぐらいは興味を持った方がいいのではと思うんですが」と屈託のない笑みを浮かべる中洲社長だ。



高い品質を守り、優れた技術を次世代に継承していく 歴史と伝統ある確かな技術で日本のものづくりを支える



中小企業を取り巻く経営状況が依然厳しい中、高い品質の製品を廉価な値段で販売することで顧客の信頼を勝ち取り、「ギターヤスリ」、「爪ヤスリ」といったヤスリの概念を打ち破る製品で新たな展開を成功させている中洲社長に今後の目標を聞いてみた。

「今ある製品の品質を守り、技術を次世代に継承していくことを第一に考えています。私たちの様なものづくりに深くかわかる仕事と言うのは、縁の下の力持ちと言いますか、土台の様な役割を担っています。そういった会社の技術が失われれば、大げさなようですが日本のものづくりは根底から崩れ、ひいては日本経済の崩壊に繋がります。そのくらいの危機感と責任感を感じながら日々仕事に当たっています」と熱く語る。

かつては男の職場そのものであった鉄道会社の現場には女性の社会進出が進んでいる一方、ものづくりの現場ではそれほど進んでいるとはいえない。そのことが技術承継をより一層遅らせている現実がある。また、便利を追求するあまり考える力が社会全体に弱まったことも、日本の強みである技術力・忍耐力が失われつつある要因だ。

そうした中、女性ならではの視点を大事にし、若手と女性技術者を育て「達成感」を共に共有してきた中洲社長の取り組みの先見性が一層輝いている。

「これからもより良い製品を作って、しっかりと日本のものづくりを支えていきたいと思っています」と語る中洲社長。その華やいだ笑顔と優しいげなまなざしに、21世紀のものづくりを担うオンリーワン企業として秘めた闘志を伺わせる。



President Profile

中洲 紀子（なかず・のりこ）

昭和34年生まれ。広島県出身。若くから自立心を確立し、銀行勤務、民間企業経理担当勤務の後結婚。出産、専業主婦生活を経て株式会社広島鑢製造所に入社。平成19年「先代の意志を引き継ぐ」という思いで3代目社長に就任。座右の銘は「1を聞いて10を悟る」。趣味は手芸。



Corporate Information

株式会社広島鑢製造所



所在地 〒737-0154 広島県呉市仁方棧橋通 1511-18
TEL 0823-79-5671 FAX 0823-79-1895
URL <http://www.hiroshimayasuri.com/>

設 立 昭和12年9月

資 本 金 1000万円

事業内容 精密ヤスリの専門メーカー
精密ヤスリ、精密鉄工ヤスリ、機械ヤスリ、
パレットヤスリ、極細ヤスリ、スーパーハンド、
極細ギターヤスリ、ポイントヤスリ、
平ギターヤスリ、ライン丸ヤスリ、彫金細工用ヤスリ、
歯科技工用ヤスリ、溝ダイヤヤスリ、溝ヤスリ、極溝平ヤスリ

沿 革

- 昭和12年 初代中洲秀夫社長が創業。
- 昭和43年 2代目中洲隆生社長 就任。
- 昭和58年 楽器専門メーカーからの依頼を受け、
ギター楽器専用ヤスリの製造開始。
- 昭和60年 ダイヤモンドヤスリ母材販売会社の
有限会社ナカズ設立。
- 平成19年 3代目中洲紀子社長 就任。
- 平成20年 日本商標登録。
- 平成21年 世界15ヶ国に商標登録。



9784888544917

ISBN978-4-88854-491-7

C0034 ¥1500E



1920034015001

定価 (本体 1,500 円 + 税)

発行 株式会社 ぎょうけい新聞社

発売 図書出版浪速社

企画 産経新聞生活情報センター

煌めく オンリーワン・ナンバーワン 企業

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 株式会社アンベスエムティ (横浜市緑区) | 代表取締役社長 安部 可伸 |
| 宇仁繊維株式会社 (大阪市中央区) | 代表取締役社長 宇仁 龍一 |
| 株式会社エンタープライズサービス (横浜市港南区) | 代表取締役社長 藤原 久子 |
| 岡安ゴム株式会社 (大阪府東大阪市) | 代表取締役社長 岡 浩史 |
| 株式会社川商 (大阪市中央区) | 取締役会長 川畑 俊彦 |
| 株式会社桔梗屋 (山梨県笛吹市) | 代表取締役社長 中丸 輝江 |
| 株式会社木幡計器製作所 (大阪市大正区) | 代表取締役社長 木幡 巖 |
| 株式会社 3 R (埼玉県久喜市) | 代表取締役社長 山口 徳行 |
| 株式会社長崎堂 (大阪市中央区) | 代表取締役社長 荒木 貴史 |
| 株式会社永島製作所 (石川県羽咋市) | 代表取締役 永島 剛士 |
| 株式会社ハシモトホーム (青森県八戸市) | 代表取締役社長 橋本 貞夫 |
| 株式会社ヒカリ (東京都板橋区) | 代表取締役社長 高橋 一芳 |
| 株式会社広島鑪製造所 (広島県呉市) | 代表取締役社長 中洲 紀子 |
| 富士電子工業株式会社 (大阪府八尾市) | 代表取締役社長 渡邊 弘子 |
| フジワラ産業株式会社 (大阪市西区) | 代表取締役 藤原 充弘 |
| 株式会社舞昆のこうはら (大阪市住之江区) | 代表取締役社長 鴻原 森蔵 |
| 株式会社栲元 (宮崎県延岡市) | 代表取締役社長 長曾我部 隆幸 |
| 株式会社モリモト医薬 (大阪市西淀川区) | 代表取締役 盛本 修司 |
| ユニベール株式会社 (石川県金沢市) | 代表取締役社長 山田 修平 |
| Was h i ON共立継器株式会社 (長野県諏訪郡下諏訪町) | 取締役会長 宮川 昭二 |